

今の自分と未来の自分

さいたま市教員等資質向上指標 (キャリアnavi)【栄養教諭】

キャリア ステージ	キャリア段階				
	採用時	キャリア段階Ⅰ	キャリア段階Ⅱ	キャリア段階Ⅲ	
求められる資質	教育に対する知見を深め、基盤を形成する。	組織の一員として教育活動を展開し、教員としての基礎・基本を身に付ける。	組織運営に参画したり実践的な専門性を高めたりする。	組織運営を推進したり同僚の模範となる実践を展開したりする。	
さいたま市が求める教師像…「豊かな人間性と社会性」「強い使命感と教育への情熱」「幅広い教養と実践的な専門性」を備えた常に学び続ける教師	素養	法令を遵守すること及び教育的愛情をもって教育活動を展開することの重要性を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 法令を遵守した教育活動を展開している。 倫理観、使命感、責任感をもち続け、教育活動を展開している。 教育的愛情をもち、教育活動を展開している。 自ら学び続ける意欲をもち、研究と修養に努めている。 自らの働き方を振り返り、日々の生活の質や教職人生を豊かにしている。 		
	児童生徒理解	児童生徒理解の意義と重要性を理解している。	児童生徒の特徴や傾向、家庭環境、属する集団の構造等を理解し、把握することで、指導や支援に生かしている。	組織を生かしながら、より多角的・多面的に児童生徒を理解し、把握することで、指導や支援に生かしている。	より望ましい児童生徒理解について、指導的役割を担っている。
	給食管理	学校給食栄養管理者としての役割や、計画的・組織的な栄養管理について理解している。学校給食の衛生管理は、学校給食衛生管理基準に基づき、適切に行うことを理解している。	指導に生かせる「生きた教材」となるよう計画に基づいて献立を作成している。学校給食衛生管理基準に基づき、適切に管理している。	学校給食に関する新しい動向や研究成果を積極的に取り入れ、特色ある学校給食の提供に生かしている。学校給食施設・設備等の衛生管理上の課題を把握し、改善している。	市の学校給食の向上のため、他校の栄養教諭に指導・助言している。これまでに培ってきた衛生管理の実践や経験を他校の栄養教諭に伝え、指導・助言している。
	教科等における指導	食に関する指導内容や食に関する健康課題について理解している。また、授業展開に必要な基礎的なスキルを獲得している。	食に関する指導の全体計画の作成に参画し、様々な教科等で「よい授業」4つの因子を踏まえ、指導を実践している。	様々な教科等の目標と食に関する指導を関連させ、学校教育活動全体で体系的な指導を実施している。	教職員や関係機関との交流を積極的に行い、食に関する指導の幅を広げるとともに、指導的役割を担っている。
	個別的な相談指導	個別的な相談指導に関する基礎的・基本的な知識・技能を獲得している。	食に関する健康課題を有する児童生徒への個別的な相談指導をしている。	発達段階や健康課題を踏まえた個別的な相談指導、校内の支援体制づくりをしている。	関係機関等と連携した対応、専門性を生かした指導・助言をしている。
	特別な配慮を必要とする児童生徒への指導	一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導の意義と重要性を理解している。	一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行っている。	関係機関を活用し、組織的かつ計画的に指導や支援を行っている。	校内体制の充実に向け、指導的役割を担っている。
	学校運営(給食室)	学校組織や校務分掌、給食室運営に関する基礎的・基本的な知識・技能を理解している。	学校教育目標を踏まえて給食業務や食育指導の方針を立て、給食室運営をしている。	関係職員と協働し、組織運営及び給食室運営をより効果的に推進している。	業務改善の意識をもって、組織運営及び給食室運営をより効果的に推進するとともに、指導的役割を担っている。
	危機管理	危機管理の重要性、危機発生時の迅速な行動について理解している。	他の教職員からの指導・助言を受けながら、危機の未然防止、迅速な対応を行っている。	他の教職員と連携し、危機の未然防止、迅速な対応を行っている。	危機の未然防止、迅速な対応を組織的に推進するとともに、指導的役割を担っている。
	連携・協働	家庭、地域との連携・協働の重要性を理解している。	家庭、地域との連携・協働を図るために、給食だより等で情報発信している。	家庭や地域と連携・協働した食育の取組を行っている。	校内外の関係者との連携・協働の要となり、食育を推進している。